



大好きな  
エルフの王女が  
魔人王の  
魔術によって  
魔人化していく姿を

ただ…  
黙って見ているしかない  
弱小妖精のオイラ

あんなにキレイだった肌が  
どす黒く変色していくー  
ごめんフローネ様…オイラ…

イケね娘食堂

ここは妖精の国「ラホール」  
このキレイな娘は  
ラホールの第一王女フローネ様

フローネ様！  
見て下さいこの花を

オイラの名はアベル  
フローネ様に仕える  
しがない下っ端妖精

もうアベルったら  
そんなにはしゃいで  
どうしたの？

フローネ様に  
これを！

あら…

可愛くて優しくくて  
清らかで澄んだ心を持つ  
フローネ様

ステキ！  
私にくれるの？

はい！  
フローネ様に  
お似合いです

ありがとう！  
大事にするわ

オイラはそんなフローネ様が  
大好きなのさ…

んこっ

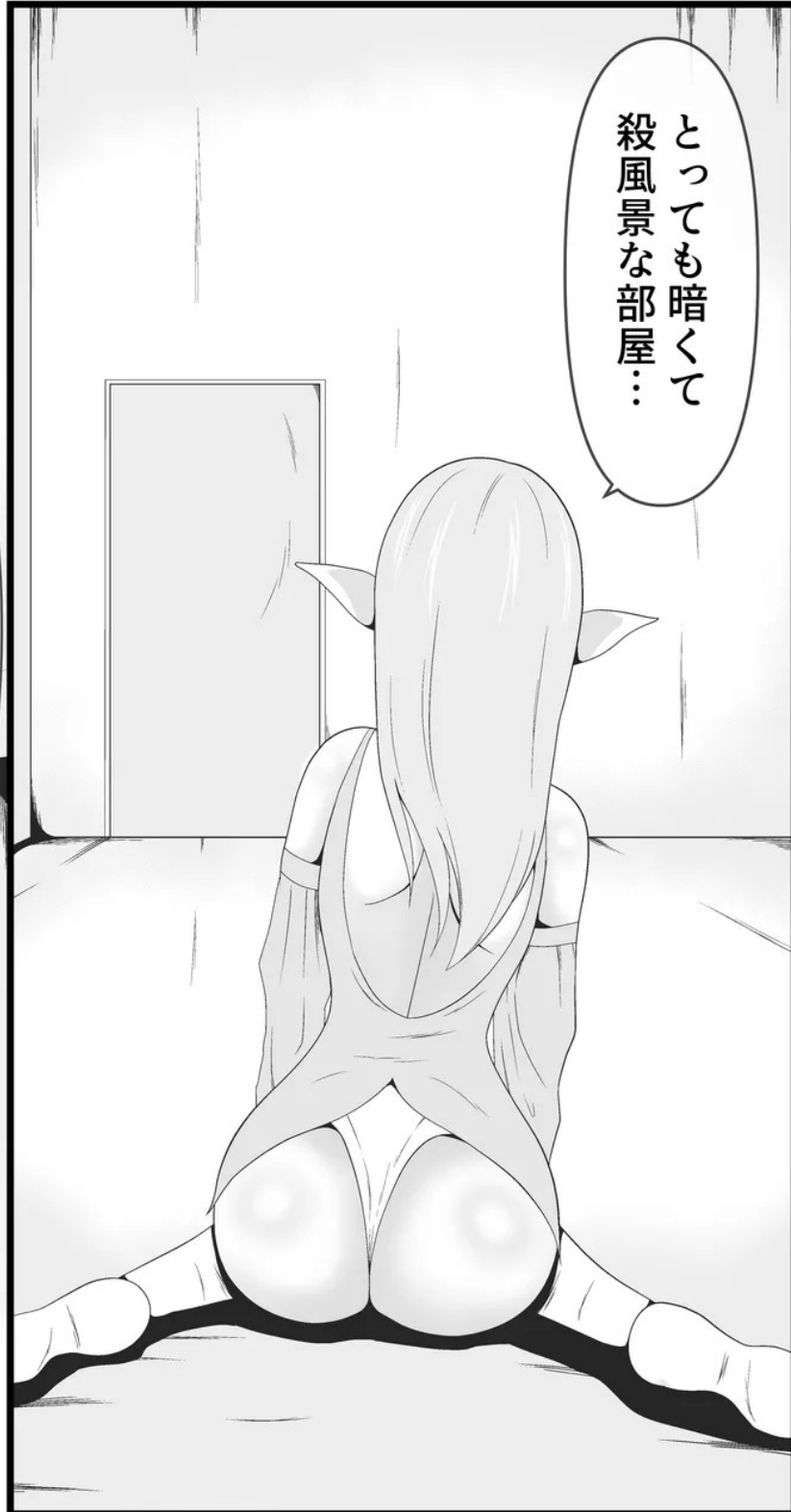
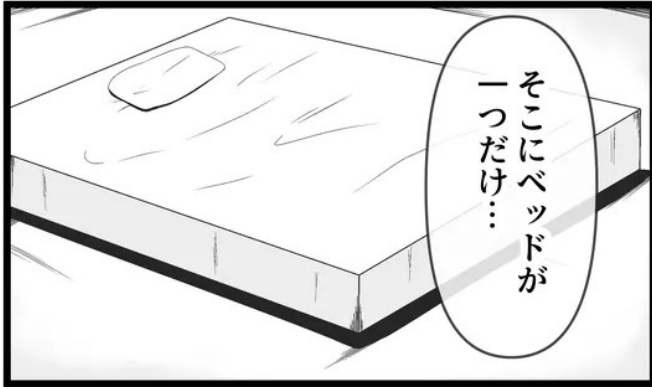
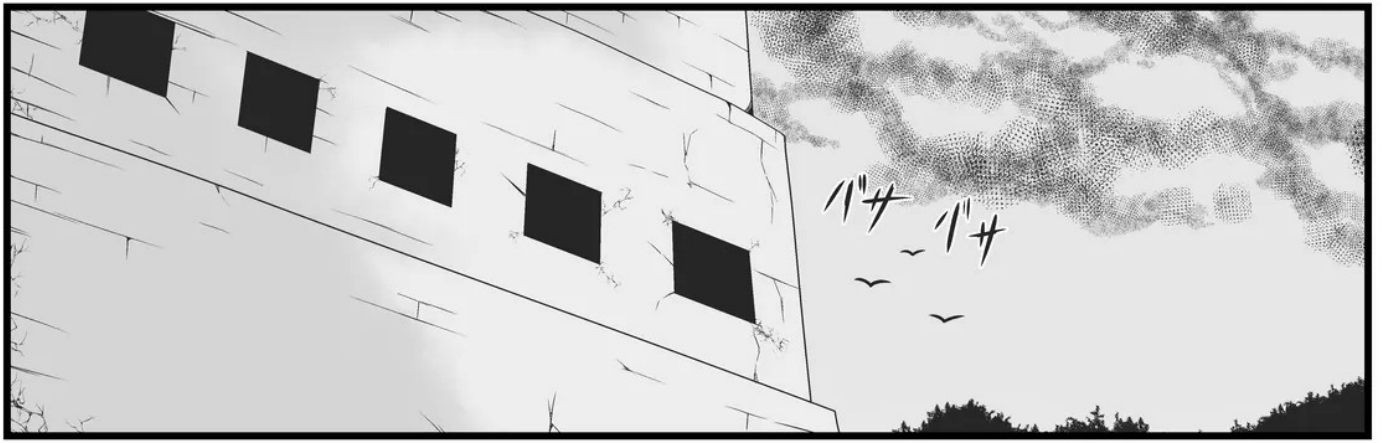
妖精の王国ラホール魔人王襲撃—  
ラホール王ワボルは魔人王との  
交戦中に戦死—後ラホール城陥落  
これによりラホールは完全降伏する

残された王の側近または親族は  
皆もろとも断頭台にかけられ  
唯一王女フローネのみが残された



フローネは巨躯の男二人に  
連れられ冷たい地下牢へと  
幽閉されるのであった…

大好きなエルフの王女が  
魔人王の魔術によって魔人化  
させられる姿をただ黙って  
見ているしかない弱小妖精のオイラー



ああ…私はこれからきっとあの邪悪な者達に汚されることになるでしょう

ならばいっそ  
そうなる前に自ら父上の元へ…

おっと  
そいつはオイラが  
許さないぜ!



キヤツ!?  
あなたはアベル

ギルン

よつとー!

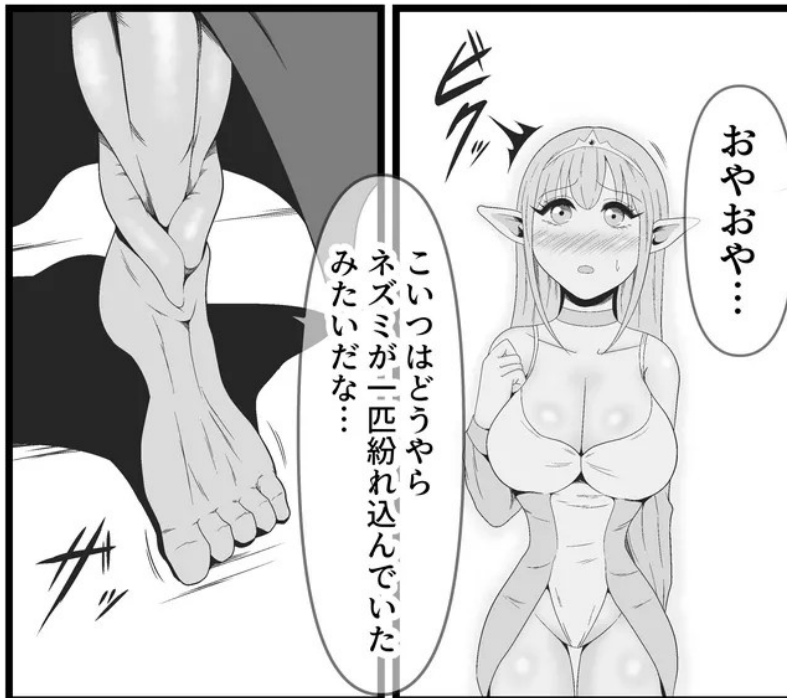
ひよこ



ダメよ!  
こんな所にいれば  
きつと貴方まで  
ひどい目に合わされるわ  
早く逃げて!



もうバカ!  
どうして貴方までこんな所へ  
ついてくるの!?



おやおや...

こいつはどうやら  
ネズミが二匹紛れ込んでいた  
みたいだな...

へへへ! フローネ様を  
一人になんてさせないぜ!



取るに足りんわ…

まあそれだけの事…



魔人王ガドラ  
父上の仇…

キッ



元は魔物と戦う  
正義感の強い  
人間だったのが  
闇の魔力に魅せられ

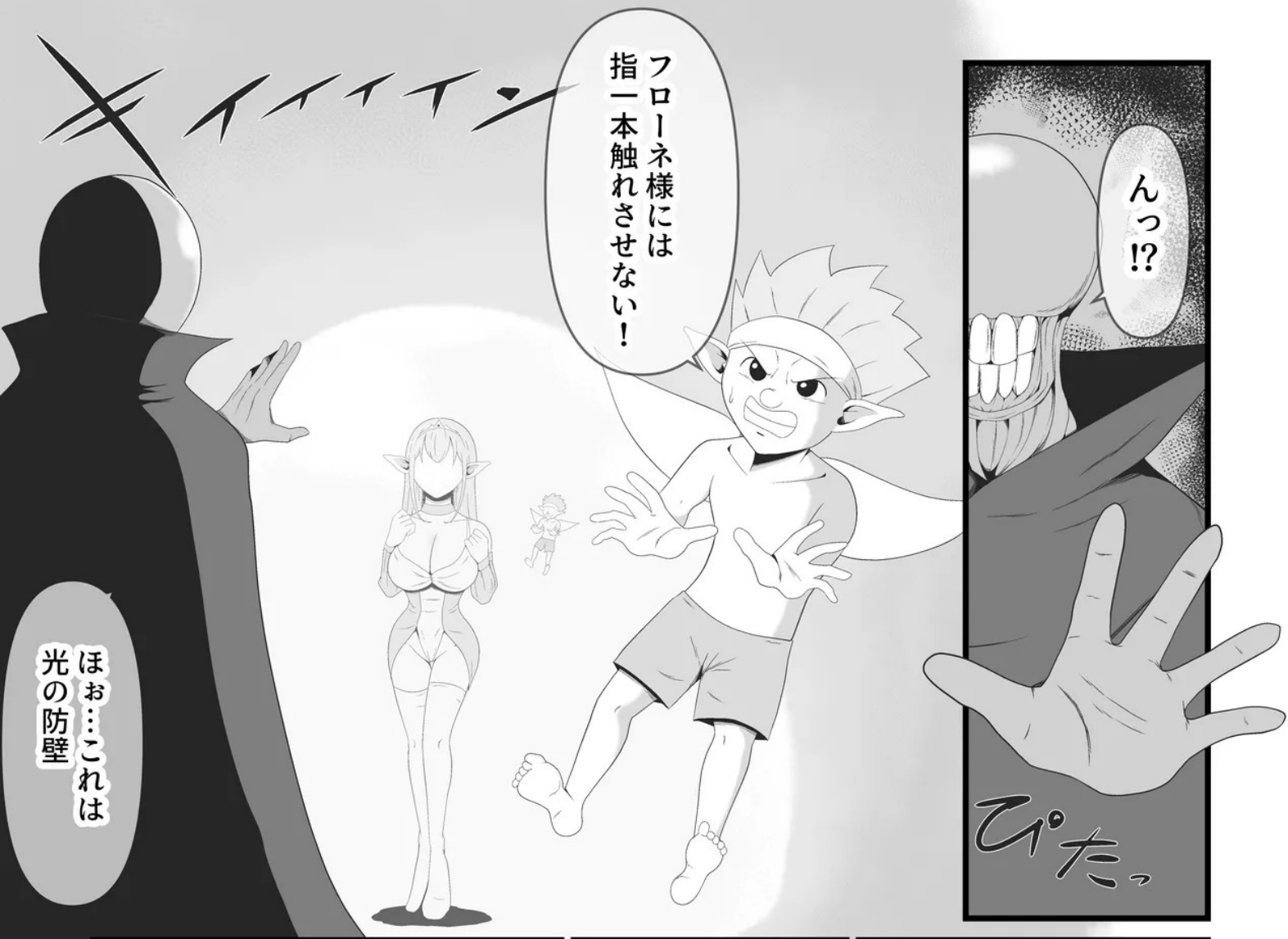
自ら魔族となり  
数千の魔物を束ねる  
魔人王となった者



くくく…



さあフロートネ戯れの時間だ  
存分に楽しませてもらうぞ



ほお…これは  
光の防壁

フロリーネ様には  
指一本触れさせない!

んっ!?

ぴたっ



なっ!?この光の防壁  
何とゆう聖なる魔力だ!?



フロリーネ様に泣き顔なんて似合わねえ  
お似合いなのは一輪の花と優しい笑顔さ!  
なんちって…



アベル…貴方  
いつの間にこんな上位魔法を…



うおおおおお!!

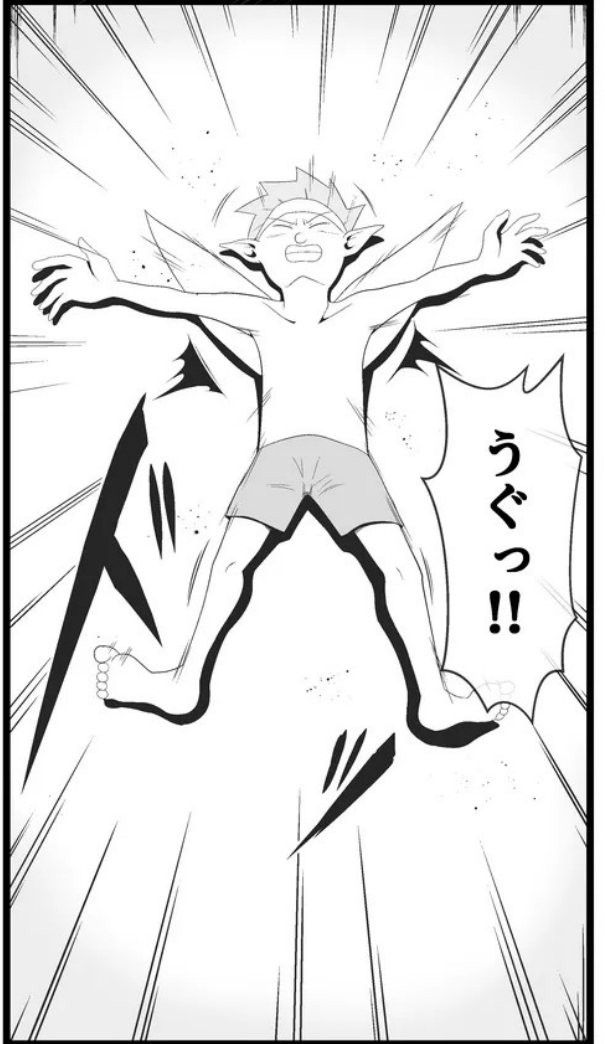
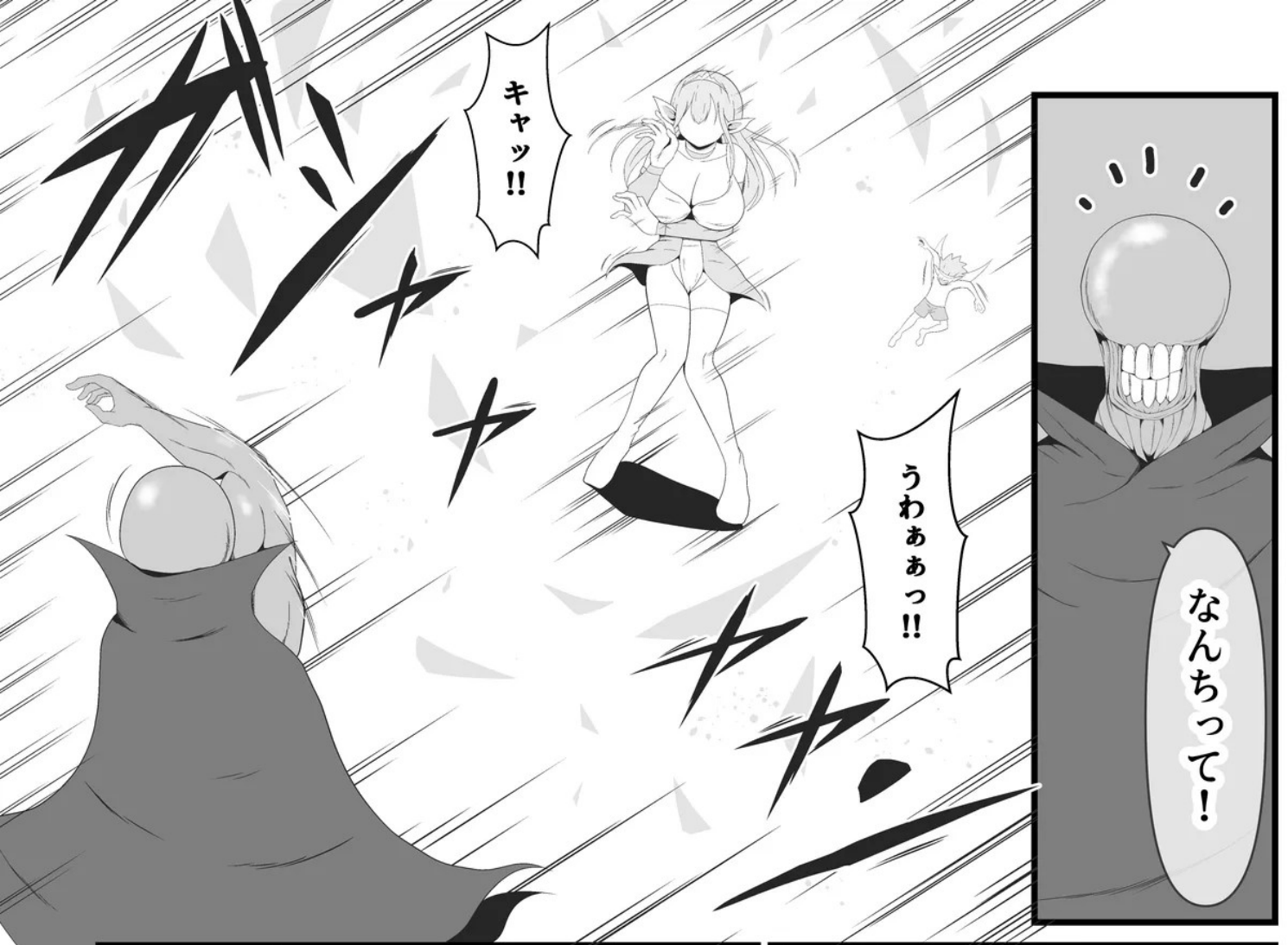
でもこの時は…  
ほんの少しだけ  
どうにかなる様な気がしたんだ



本当は大した時間稼ぎにも  
ならない事はオイラにも  
分かってたさ



へへ…オイラ  
フロリーネ様の為に  
猛特訓したんだぜ!





貴様の様な「聖女」には  
俺たち魔族の闇の魔力は  
一切効かない

.....

したがって貴様を完全に  
「魔に墮とす」には  
まず貴様に元来備わっている  
「聖なる力」を剥奪しなければならぬ



当然です！  
我々誇り高きエルフ族は  
魔物に貸す耳は持ち合わせて  
いません



ラホール王国の民は  
なかなか強情でな...  
俺の言う事には一切耳を傾げんのだ



聖なる力の剥奪？  
魔に墮とす？  
一体何を言っているの？



いやあああああ!!

ビュッ

ビュッ

ビュッ



ああ...たしかに俺の言う事は聞かないだが...



貴様の言う事ならどうだろうな

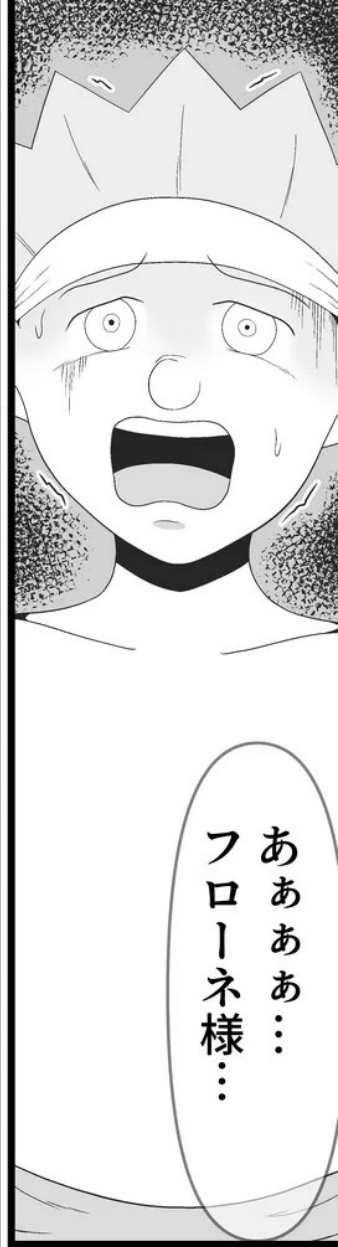
!?



俺の目標は世界の王となる事だ  
他の民族を滅ぼす事ではない

エルフ族にも  
従順な我しもべとなってもらいたいのだ

んあっ...



ああああ...  
フローネ様...



だからこそ  
貴様にはあゝ間に堕ちてもらい  
俺たちと同じ魔族となり

キヤツ!?

魔人軍の幹部として  
改めてエルフ族を  
率いてもらいたい

グ



フローネ様!!



ダメ!  
アベル…見ちゃダメ!



ほお  
これは立派なケツだ



んぎっ…

ネチ♡

ネチ♡

それが一番  
手っ取り早い

何をバカな事を  
言ってるの…  
父上…助けて…



いやあああ!  
やめてえー!

素晴らしい  
やはり聖女の身体は  
別格だ



ア...アベル...



うっ...



やめろー!!



あれっ...?



くくく…早速効いてきたか  
魔族の闇の魔力は聖女には  
効かない…だから魔人軍の  
別民族部隊に聖なる魔法で  
催眠をかけさせてもらった



ぐぐぐ…放せ！  
ぐっ…ダメだフローネ様



何だか…  
変な気持ちい♡



太つとくて硬いおチンポで  
おマンコぐちゅぐちゅ  
掻き回してほしい♡あゝん♡  
おチンポ舐めたいよお♡

はあ♡  
何だかすっごくエッチな気持ち  
逞しい男にめちゃうちゃに  
された♡



やーん♥  
遅いおチンポみいーけっ♥

じゅるるっ♥  
んっ♥おいひいっ♥



さあフローネよ…  
俺の前で股を開いて  
お前のマンコを広げてみる



はあ♥この  
おチンポすっごく硬い♥



ダメだ…これ以上聖女にとって  
禁忌である淫行を進めてしまえば  
フローネ様は…

フローネ様！ダメだっ…  
これは罠だっ！！



私の事…  
めちやくちやにして♡

うん♡もうダメ  
身体が疼いて  
しょうがないの♡

ぱあ♡  
ネチャ♡



よし！  
なら望み通りにしてやる

あはああん♡

あっ♥ああああんっ♥

ボゴッ♥

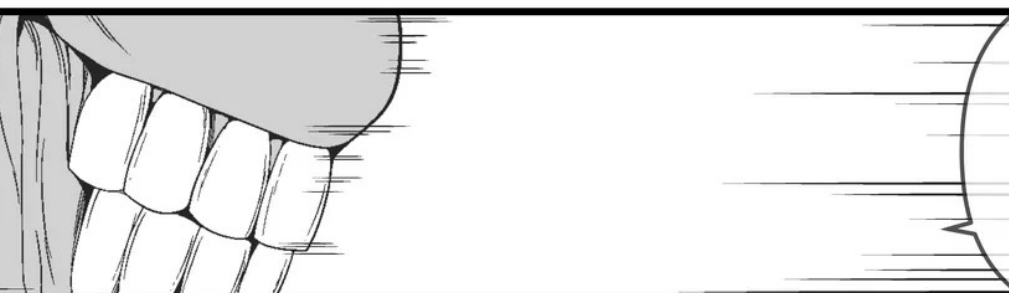
あっ♥ダメダメ…  
何かくる♥



お願いだ！  
フローネ様  
もうやめてくれ！！



何かお前の中から湧き上がってきただろう…さあ我慢する事はない気持ちよくひねり出してしまえ

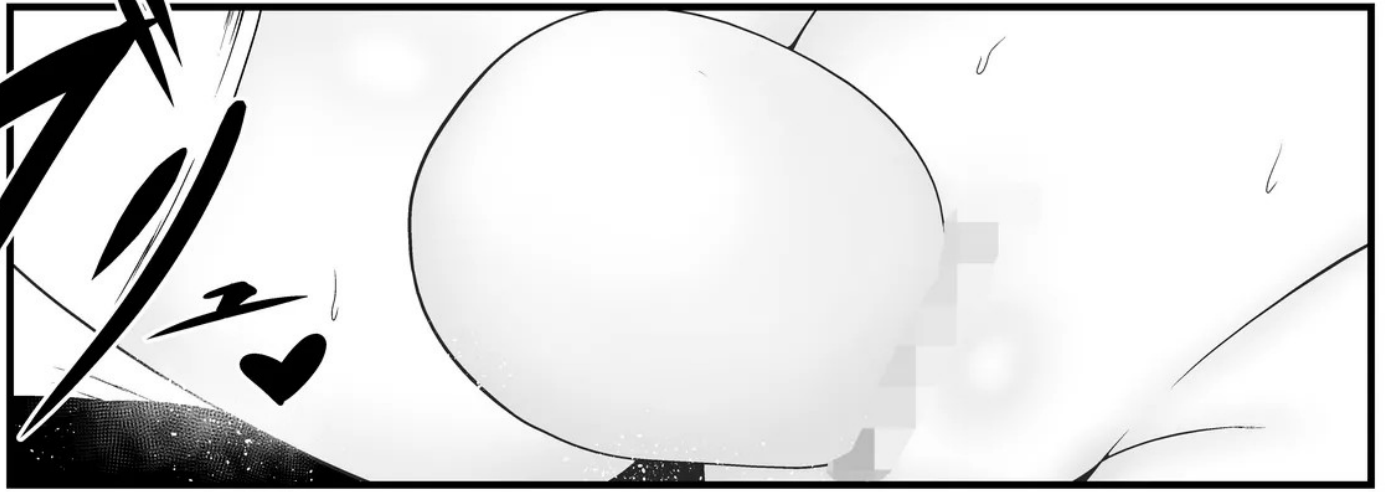


あああっ！何か出るっ…  
出てきちゃううっ…♥

ボゴッ♥  
ビクッ♥  
ボゴッ♥

んぐっ♥あっ♥出る出る…  
出ちゃうううううう♥





あはああああああああんっ





頼む何でも言う事を聞くから…

お願いだ…それを…フローネ様に返してくれ



これは美しい…これこそが聖女を聖女たらしめていた源の聖玉か…



ほう…



あれ…私…?

ピョー

ビク



よし…もう催眠は必要ないな…今解いてやる



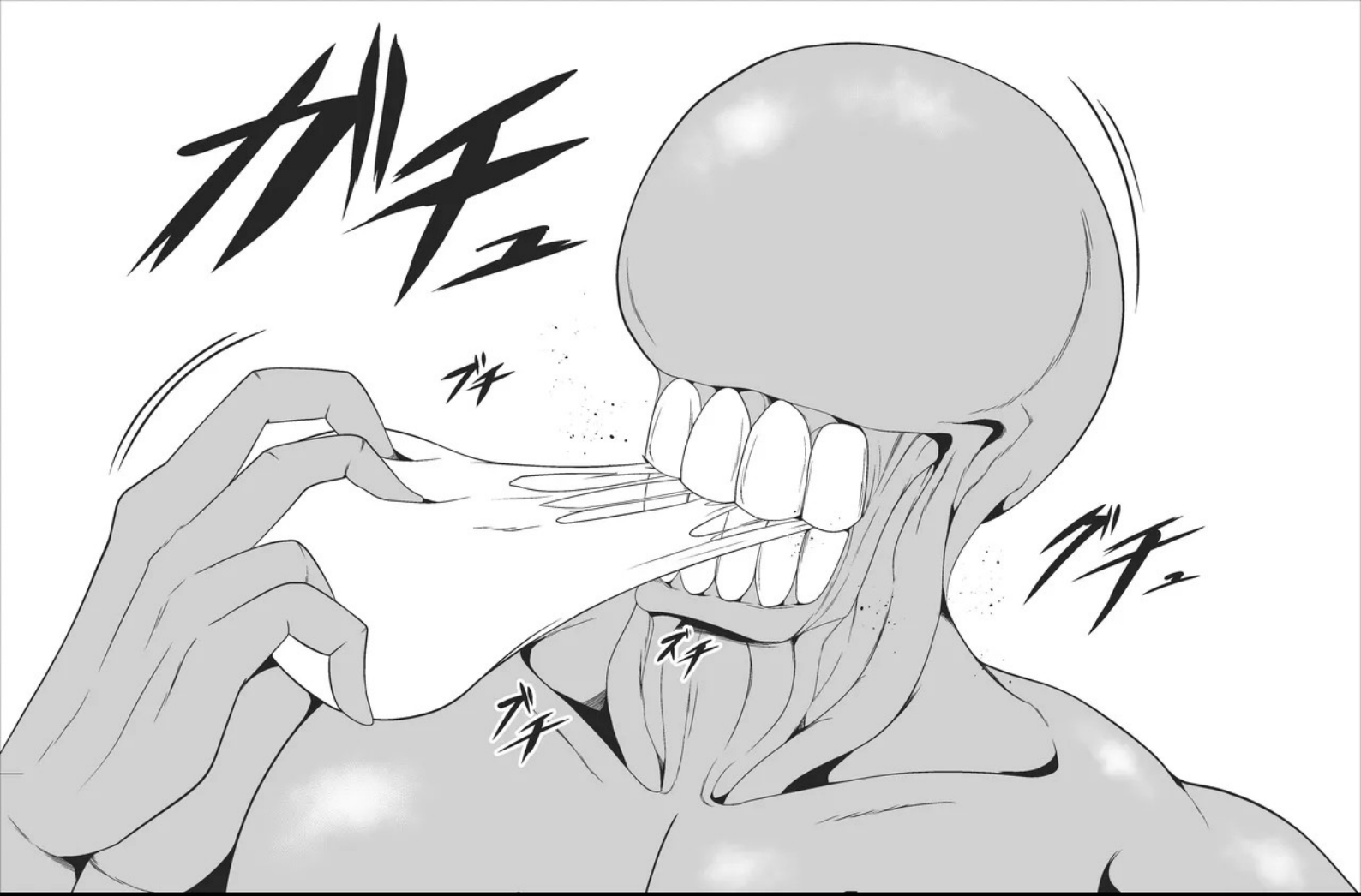
フローネ様!今ならまだ間に合う!あいつの持っている聖玉を取り返…



ポロ

ポロ

あれ…何だか変…涙が…次から次へと溢れてくる…何かとっても大事な物を失ってしまったような…



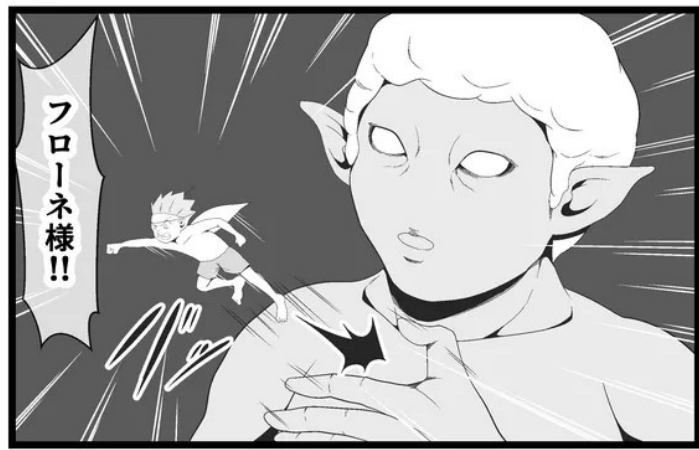
部屋が…黒く染まってく…

いやあああああ!!  
怖いっ…助けてアベル!

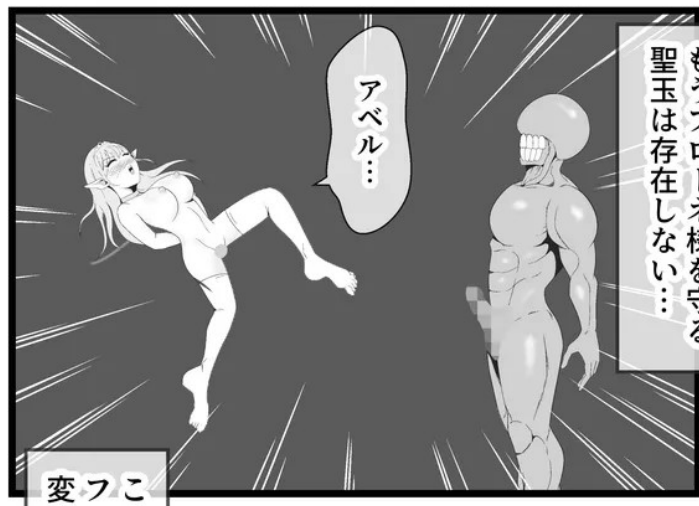
ズズズ!



身体が思う様に動かないっ…  
やだよっ! 私魔人にされちゃうよお…



フローネ様!!



アベル…

もうフローネ様を守る  
聖玉は存在しない…



このままでは  
フローネ様は魔人に  
変えられてしまう…

今ここでフローネ様を  
守れるのはオイラしか  
いない…

アハハハ!!

五月蠅い蠅だ…

今ここでオイラの命が  
尽きる事となっても…



少し黙ってる

ピッ



パッ



そんな...アベル...



フロ...ネ...さ...ま



淫門開

ひきさっ！

ぱ

あ♡

いでよ“魔淫柱”



さあ全てを捧げ  
共に闇に堕ちるのだ



いやああ!  
そんな大きいの  
入らない!

アベルの嘘つきっ!  
私の事助けるって  
言ったのに…

アベル…  
おねがっ…

じぎっ!!

じぎ

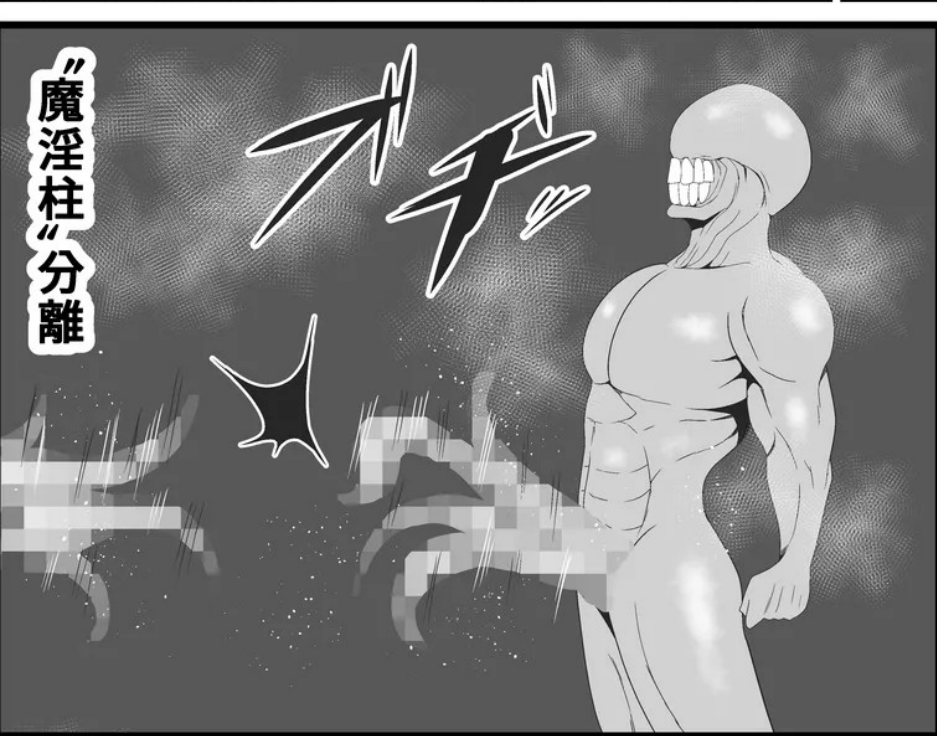




うわっ...  
おっおっおっ...!!



ぎぎぎぎぎ!!



魔淫柱分離



あああああああ!!



いやあつ!  
何か入ってくるっ!  
ダメ...

んぐっ...!!

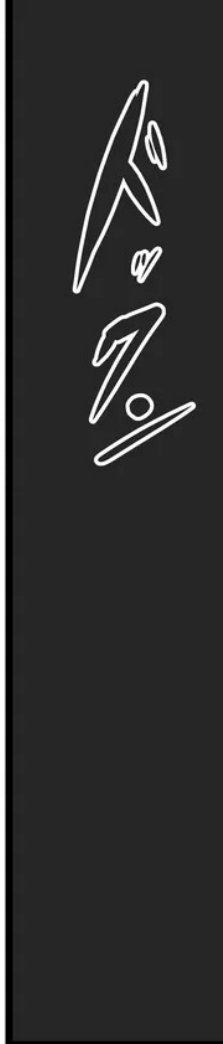


おっくん...  
いや...やめ...なり...  
たく...ない...

まぞ...く...いあ...

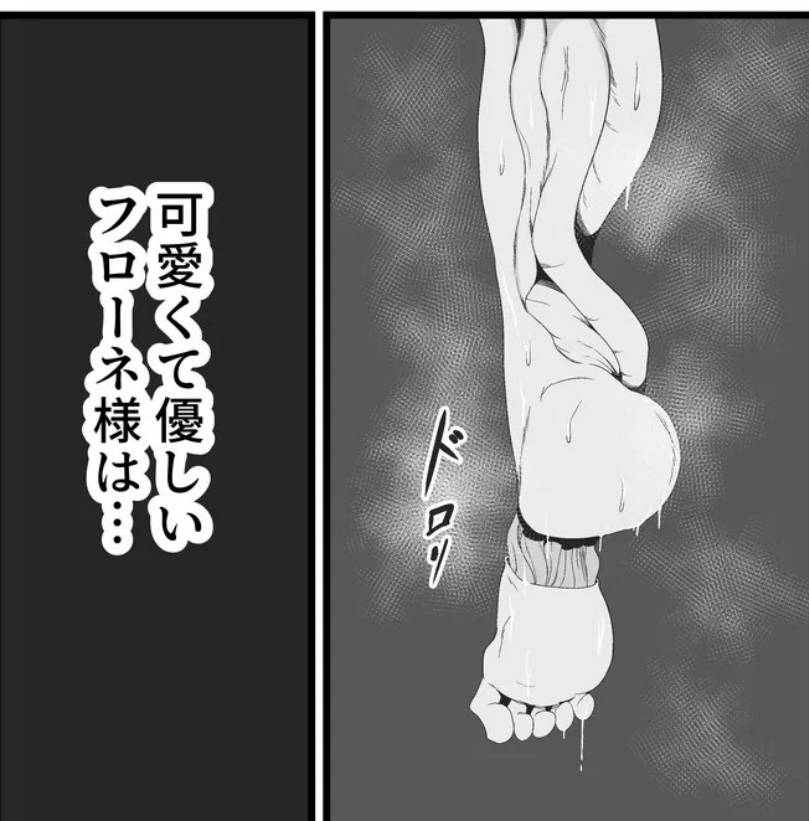
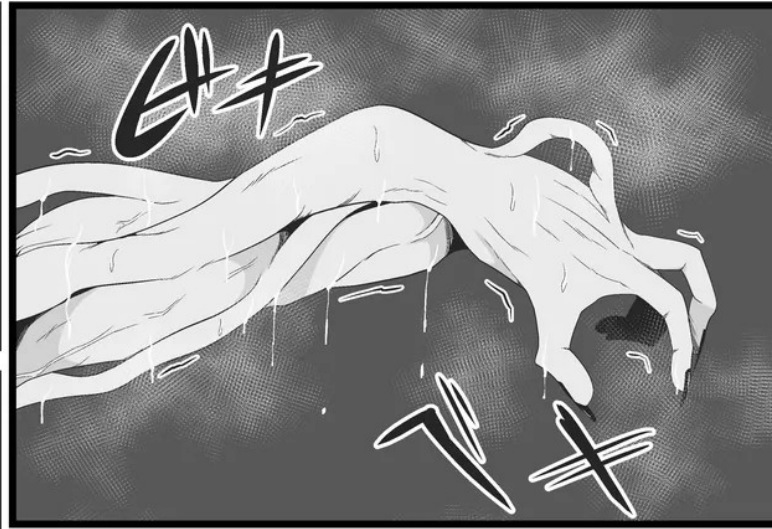


フローネ様...



オイラが  
大好きだった

花が大好きな  
フローネ様...



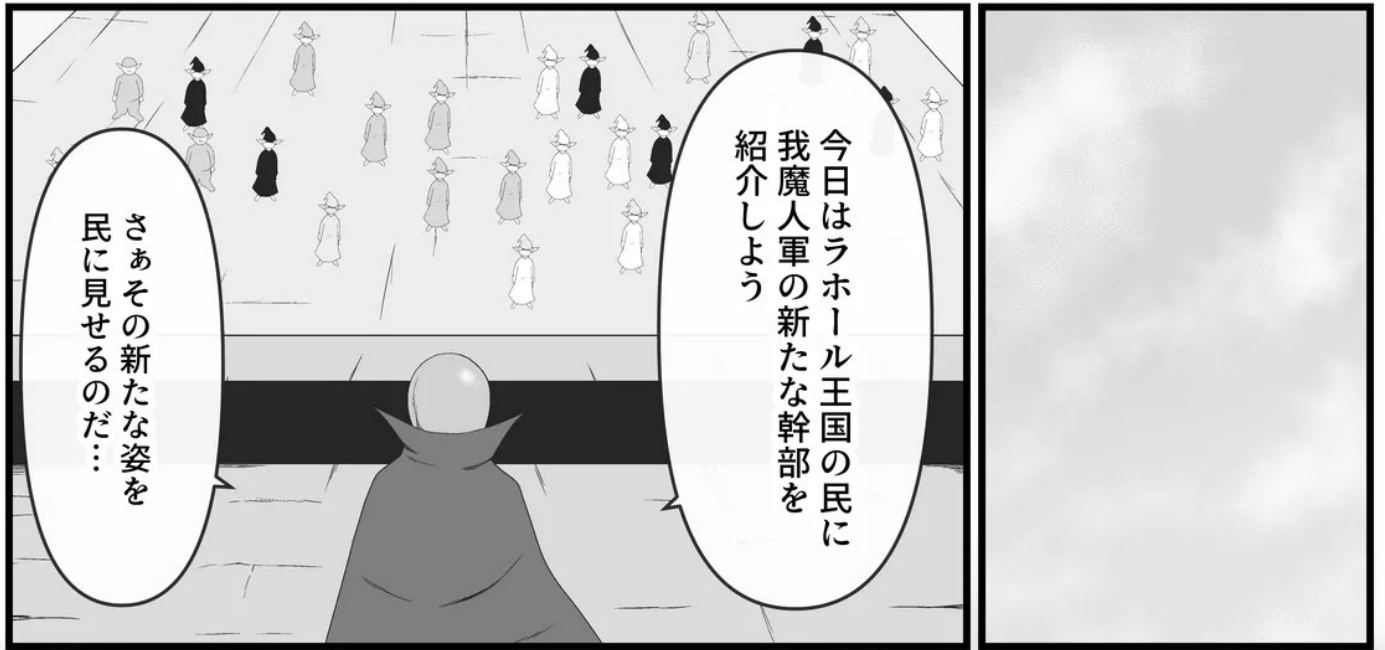
ドロッ

可愛くて優しい  
フローネ様は...



やめええ...え...





今日はラホール王国の民に  
我魔人軍の新たな幹部を  
紹介しよう

さあその新たな姿を  
民に見せるのだ…



元エルフの王女フローネ…  
そして今は  
“魔獣鳥人フローネ”だ  
フローネには我魔人軍の  
大幹部としてこれから働いてもらう



ああ…  
おいたわしや  
フローネ様…  
なんとゆうお姿に…

あれは…  
あの魔人は本当に  
フローネ様か…

あの美しかった  
フローネ様が…あの様な  
醜い姿に変わり果てて  
しまった…

こんにちはわ  
ご機嫌麗しゅう  
脆弱なる愚民共

早速だけど貴方達も  
魔人王様に従いなさい  
ガタガタぬかす奴は私が  
首とおチンポをチョンパ  
しちゃうんだから

何とゆう汚いお言葉を  
使われる…

ああ…もう終わりだ  
ラホールはこれで本当に  
お終いだ…

ハエと思われていたオイラは  
殺されずらせず…  
あっけなく逃がされ…

無様に生き残った…

消えよう…この国から…  
いや…この大陸から

さあ私の手で  
ブチ殺されたい奴はどいつ？  
それとも魔人王様に忠誠を誓う？  
忠誠を誓うって奴は私の目の前に  
膝まづいて並びなさい…  
ご褒美にお口でしゃぶってあげるわ  
どう悪くないでしょ

それが…  
守り切れず変わり果ててしまった  
フローネ様を二度と見ずにいられる  
唯一の手段だから